

# 鍼灸科I部

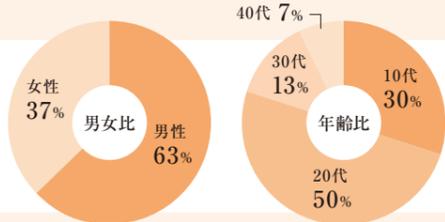
## 全日制 昼間部



全日制ならではの授業構成で、幅広い鍼灸治療を実践的に学べます。

### 在校生data

※2017年4月1日時点(1~3年次)



9:30~16:40(月-土 週6日制)  
■修業年限:3年 ■定員:60名

職業実践専門課程認定

## 昼間部の特徴

多彩な専門科目で目標に応じた技能を修得できます。

### 鍼灸の基礎力を固める 全日制ならではの授業構成。

全日制的密度の濃い授業構成により、鍼灸治療に必要な知識と技能を着実に修得。基礎分野から専門分野に及ぶ医学知識はもちろん、一般教養も高めていきます。



### 鍼灸の基礎技術を磨く、 毎日実施される反復練習。

消毒法、身体各部位への鍼の刺し方、灸のすえ方、反応点の探索など、鍼灸の反復練習を毎日実施することで、施術の基本技術を確実に身につけていきます。



### 治療家としての基盤をつくる 体系的なカリキュラム編成。

知識と技能を体系化していく学科カリキュラムに加え、目的に合わせて選択科目や特別講座を受講することで、治療家としての基盤と専門性を築くことができます。



### さまざまな臨床現場で役立つ、 実践力を高める授業が充実。

企業等との連携授業や、小児はり、美容鍼灸をはじめとする特別講座など、実践力を高める応用訓練が充実。1年次から附設クリニックなどで臨床実習を行います。



### 卒業生インタビュー

呉竹で修得した基礎医学と鍼灸治療は、医療人となった私の財産です。

整形外科のリハビリスタッフとして、運動療法や鍼灸治療を行っています。外傷や痛みへのケアをはじめ臨床経験を重ねるたびに痛感するのが、人体構造・機能への理解の大切さです。呉竹で解剖学や生理学を教わり、経絡治療や現代鍼灸まで学べたことは私の財産です。今の目標は患者さまとの信頼づくりに必要なコミュニケーション能力を磨き、30代で治療院を開業すること。そのため、現在は呉竹の柔道整復科II部で新たな勉強にも励んでいます。

2014年度 鍼灸科I部卒業/柔道整復科II部在学/山崎整形外科 リハビリテーション科スタッフ・鍼灸師 杉江 芳仁さん



## 授業の流れ

年次ごとに、基礎、応用、実践へと段階的に積み上げる学習システムです。

	1年次	2年次	3年次
学習ポイント	<p>基本に徹した学びで基礎を固め、医療人としての自覚を育む。</p> <p>鍼灸の基礎知識と基本技能の学習を通じて、基礎力をつくると同時に医療人としての自覚を持たせます。</p>	<p>臨床医学に基づき、具体的な疾病や治療法を学習。</p> <p>基礎力の応用として臨床医学に基づき、さまざまな疾病の捉え方、正しい治療法、患者さまへの応接法などを学びます。</p>	<p>臨床実習で臨床力を養い、国家試験に向けた学習を強化。</p> <p>臨床実習を通じて実践的な技能と患者さまへの対応力を磨くとともに、国家試験に向けた強化学習を行います。</p>
カリキュラム	<p>【基礎分野】 総合基礎I(中国語/生物I/文章表現法/心理学)</p> <p>【専門基礎分野】 解剖学I、生理学I、公衆衛生学</p> <p>【専門分野】 東洋医学概論I、経絡経穴概論I、はき概論、基本はり実技、基本きゆう実技、体表解剖・取穴実習、早期臨床体験実習I、医療コミュニケーション学、東洋医学のエビデンス、衛生実習</p>	<p>【基礎分野】 総合基礎II(英語I・II/化学)</p> <p>【専門基礎分野】 診察概論I、リハビリテーション医学概論I</p> <p>【専門分野】 はき理論I、はき診察学、東洋医学概論II、経絡経穴概論II、東洋臨床診察治療学I、東洋臨床診察治療実習、特殊鍼灸・特殊灸法実習、身体診察実習、運動器系疾患実習、早期臨床体験実習II、外部施設臨床実習、医療概論I、医療面接概論</p>	<p>【専門基礎分野】 解剖学II、生理学II、診察概論II、病理学概論I・II、リハビリテーション医学概論I・II、公衆衛生学・関係法規・医療概論</p> <p>【専門分野】 東洋医学概論III、経絡経穴概論III、はき理論I・II、はき診察学、東洋臨床診察治療学II、社会はき学、関係法規、はき適応疾患実習、はき臨床実習、医療概論II、症例報告作成・症例検討会、BLS実習</p>
選択科目		<p>【選択科目】 中医学I*、経絡治療I*、現代鍼灸I* 病態生理I・II</p>	

…業界と直結し、企業等と連携した実践授業 ※カリキュラム変更にとまない、専門分野に組み込まれる場合があります。 ●基礎分野は履修免除制度あり。

## 1週間の時間割例

1年次

講義、実技をバランスよく配したカリキュラムを展開します。

### 【体表解剖・取穴実習】

体表部の観察や触診の要領を実践で学び、指先の触知力を向上。鍼灸施術の基本である取穴を指先と身体で覚えます。

### 【中医学I】

2年次の受講科目



問診・脈診・舌診・腹診などから体内の不調を発見して治療を行う中国伝統医学を理解し、臨床に応用できる力にします。

	1 9:30~11:00	2 11:10~12:40	3 13:30~15:00	4 15:10~16:40
月	医療コミュニケーション学	基本きゆう実技	—	困社会人のための日本語トレーニング
火	経絡経穴概論I	体表解剖・取穴実習	—	早期臨床体験実習I
水	東洋医学概論I	基本はり実技	困大師流小児はり	—
木	解剖学I	生理学I	困手話	—
金	公衆衛生学	基本きゆう実技	困サービス介助	早期臨床体験実習I
土	心理学	生物II	—	—

困は特別講座 ※時間割は次年度計画上の予定です。

【その他の特別講座】 スポーツアロママッサージ、メディカルハープ、手話、古典セミナー 他多数

### 特別講座【大師流小児はり】

日本で生まれ、海外でも注目される大師流小児はり。大人よりも難しい、子どもへの鍼灸治療の技能と心得を修得します。

### 特別講座【美容鍼灸】



肌荒れなどの原因となる便秘や冷え性を改善する鍼灸を復習し、顔面の左右のバランスを整える浅鍼の施術法を学びます。

### 在校生インタビュー

“分かる喜び”に満ちた、実践と臨床を重視した授業が魅力です。

学校説明会で鍼灸の奥深さに触れ、東洋医学を学ぼうと決めました。自分の足やクラスメートを模擬患者とする鍼灸実習、医療の現場を間近に見られる臨床実習など、“分かる喜び”に満ちた授業が魅力です。将来はあん摩マッサージ指圧師と柔道整復師の国家資格も取得して治療院を開業し、後進の指導にも努めたいと考えています。

鍼灸科I部 山田 裕貴さん

